# 事務事業チェックシート

# 事務事業No 事業名 137 環境啓発事業

### [長期総合計画]

[民効心目計画]								
分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち						
政 策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成						
施策	1	環境の保全						
取組方針								

事業種別	継	続			
事業期間	~				
事業実施の根拠法令					
関連個別計画	環境基本計画				
担当課・担当課長・Tel	環境政策課	中西 克之 435-1114			
関連課					

#### [事業基本情報]

[事未至平旧報]								
事業区分(1)	事業経費	0	管理経費					
尹未囚刀(1)	その他							
事業区分(2)	自治事務	0	法定受託事務					
事未匹刀(2)	その他							
	会計		一般会計					
	款		衛生費					
会計・	項		環境保全費					
予算区分	目		環境保全政策費					
	大事業	3	環境保全政策事業	事業				
	中事業		環境啓発事業					

#### 1 事業内容

1	争美闪谷							
	(「誰・何」をどういう状態にする」ためのヨ	事業か)	全体事業概要					
事業目的	より良い地域環境及び地球環境を確保するため。	・環境月間 (街頭啓 ・その他環 ・「和歌山 ・市報わか						
事業内容	環境保全講演会、出前講	平成 2 8 年度 容発活動の実施 (街頭啓発、 環境保全講演会、出前講 座)、親子生き物観察教室、 「和歌山市の環境」作成・首	平成29年度 啓発活動の実施(街頭啓発、 環境保全講演会、出前講 座)、「和歌山市の環境」作 己成・配布	平成30年度 <b>啓発活動の実施</b> (街頭啓発、環 境保全議演会、出前講座)、 「和歌山市の環境」作成・配布	環境保全講演会、出前講			

## 2 事業コスト

事業費等 (千円)		平成27	年度	平成2	8年度	平成2	9年度	平成30	年度	平成3	1年度
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業	業費	705	518	1,612	1,042	1, 270	639	1, 223		1, 223	
伸び率	(%)	-  -	-	128. 7%	101.2%	<b>▲</b> 21. 2%	<b>▲</b> 38. 7%	<b>▲</b> 3. 7%	<b>▲</b> 100.0%	0.0%	_
	正規職員	5, 523	5, 501	5, 523	5, 923	5, 343	4, 212	4, 366		4, 366	
人件費	正規職員以外	803	834	803	1, 042	1, 282	2,054	1, 094		1,094	
	小計	6, 326	6, 335	6, 326	6, 965	6, 625	6, 266	5, 460		5, 460	
国庫ラ	支出金										
県支	出金										
市	債										
その	の他										
一般財源		705	518	1,612	1,042	867	639	1, 223		1, 223	
所要人数	正規職員	0.67	0.72	0.67	0.78	0.67	0.53	0. 55		0.55	
(人)	正規職員以外	0.38	0.38	0.38	0.48	0.48	0.67	0.48		0.48	
主な予算	草内訳	消耗品費170千	円、印刷製本	費575千円							

## 3 目標及び実績

3	日標及び美績							
	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			目標値	6	6	6	6	6
活	啓発事業実施回数	回	実績値	6	6	6		
活動			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
指標			目標値					
125			実績値					
			達成度(%)					
			目標値	150	150	150	150	150
成	啓発事業参加人数 (環境保全講演会)	人	実績値	170	132	127		
果			達成度(%)	113.3%	88.0%	85.3%		
指標	·		目標値					
际			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	0	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	0	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	0	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	0	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	0	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	0	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業	充実				
内	現状維持	$\setminus$		0	
事業内容の	縮小	$\setminus$		$\setminus$	
方向	廃止				
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
			コスト投	入の方向性	

担当課評価の根拠	市民、事業者に対するさまざまな啓発活動を継続して行うことで、意識を向上させ、環境保全活動のすそ野を広げることができる。
見直し・改善内容	